

佛神感應錄卷第十五目録 後集

一 紀州粉河寺ノ觀音三井寺ノ公舜別當ニ法華。彌陀

觀世音。同一體ナリト示玉フ事

二 洛陽六角堂ノ觀音感應ノ事

附タリ道元和尚一葉ノ觀音ノ事

附タリ異朝觀音ノ現證ヲ引事

三 肥州間ノ嶋千手觀音ノ縁起ノ事

附タリ船玉明神ノ由來ノ事

附タリ海中ニ種々ノ大魚又ハ惡魚アル事

四 地藏菩薩ニ女子ヲ祈テ即 與玉フ事

附タリ中將姫及夢窓國師ノ例ヲ引事

五 施餓鬼ノ功德因縁ノ事

附タリ焔口ノ功德由來ノ事

并コレヲ修スルニ用心アルベキ事

六 梁皇懺並ニ水懺ノ功德縁起ノ事

附タリ諸懺悔ノ法ノ事

佛神感應錄卷第十五 後集

一 紀州粉河寺ノ觀音三井寺ノ公舜別當ニ法華。彌陀。觀世音。同一

體ナリト示玉フ事

中昔三井寺ニ公舜ト云別當ノ僧在カリケリ素信心フカキ人ニテ。單ニ  
淨邦ノ蓮臺ヲ願ケルガ。或時能野山ニ詣テ。至心ニ臨終正念ヲ祈籠レ  
ケル。或夜ノ夢ニ權現告サセ玉ハク。紀州粉河寺ノ觀音ニ祈奉バ。子  
ガ志願ハ遂ベキナリト。公舜ユメサメ。喜心ニ溢ツ。急粉河ニマウ  
デ。先法施ノタメニ。卯月十八日ヨリ法華ヲ講ジ初テ。七月十八日ニ結  
願アリケリ。カクテソノ曉ノユメニ。薄墨色ノ衣着タル僧。御厨子ノ

⑩02オ

中ヨリ現ジテ。偈ヲ説玉ハク。法華即我身。我亦極樂主。汝讚嘆於  
我。我來迎於汝。トイヘリ。相兒端嚴ニシテ。妙音アザヤカナリ。  
公舜ヲドロキサメテ。感涙ニタエズ。コレヨリ疑滯ノ心融ジテ。初八往  
生ヲ十五日ニ願ケルニ。今觀世音ノ御告ニヨツテ。信心決定シタリシカ  
バ。滅ヲ十八日ニ取ト申サレケルガ。ソノ後願ノゴトクニ。承安三年。  
卯月十八日ニ。年八十三ニシテ。日出度往生遂ラレケルトゾ。コノコト  
具ニ粉河寺ノ縁起靈驗ノ中ニ記レヌ。抑コノ觀音ハ。ムカシ宝龜<sup>ハウキ</sup>人皇<sup>ヒトミコ</sup>四十  
帝<sup>ミカド</sup>ノ年中ニ紀州那賀ノ郡大伴氏孔子古ノ宿願ニテ。觀音太土自童子ト  
現ジ。來セ玉ヒツ。一七日ノ間ニ。金色殊勝ノ千手  
千眼ノ像ヲ造玉ヒテ。カキケチ失玉フ。時ニ大伴氏感喜アサカラズ。程  
ナク精舎ヲ建テ供養恭敬シタテマツル。ソノ後河州澁河郡ノ佐太夫ト云  
シ人。一子ノ重煩テ。醫療ノシルシナカリシカバ。父母嘆モダフルコ  
ト甚切ナリシニ。コノ觀音。忽童男ト化シ來タマヒ。大悲神咒ヲトナヘ  
テ。加持シ玉フニ。ソノ病速ニ愈シコトナド。詳ニ元亨釋書第二十八  
ニミエタリ。或ハ清和天皇ノ御宇ニ。在原ノ中將業平朝臣ノ夫人某。

⑩02ウ

⑩01ウ

⑩01オ

心ヲコノ粉河ノ大士ニカタムケテ。毎日普門品ヲ讀誦スルコト。三十三卷。カクテ業平諸共二現ニ不思議ノ感應ヲ得ラレキ。又長治年中ニ。藤原ノ成俊ノ女子。生シヨリ兩眼盲テ。スデニ七歳ニイタレトモ。日月

〔1503オ〕

ノ光モシラズガホナレバ。父母ノ嘆ニ云ハカリナシ。コトニ母イミジフカナシミテ。遙ニコノ粉河寺ニ具シ來。心ノ及限。額着祈テ。果ハ。カノ盲女ヲ膝ノ上ニ居テ。ナミダヲナガシツ、口号ケル

補陀落ノ海ニ生ナルモノナレバ。コノミルメヲバタマヘトゾ思

トヨミテ。目睡ケル夢ニ淡墨色ノ衣キタル其サマ止ゴトナキ僧ノ來玉ヒ。微妙ノ聲ヲイダシツ、。歌ノ返トミエテ

補陀落ノウミヲワタレルモノナレバ。ミル目モ更ニヨシカラヌカナ

悲母ヲドロキサメテ。イトアリガタキユメヲモミツルモノカナト。クリ

〔1503ウ〕

返ウチ誦シケルニ。膝ニアリケル女子ノ自佛前ノ燈ヲユビサシテ。荒明ヤトイヒケリ。イカニトミルニ。兩眼スデニヒラキヌ。父母ノ喜イハシカタナシ。ソモコノウタハ。風雅集ノ釋教ノ部ニイデ、。世ニシル人多シトカヤ。カ、ル靈驗スクナカラス。猶寺ノ縁起ニイデタリ。抑彌陀

觀音法華ハ。素同體ニテ在コト。顯密ニツイテ。習侍ルコトナリ。古

德ノ頌ニ昔在靈山名法華。今在西方号彌陀。娑婆示現觀世音。

觀音ト三世利益同一體トイヘル。良ニ故アルカナ。サレバ觀音彌陀ハ因果ノ

上ノ異名ナリ。ユヘニソノ三摩耶形。彌陀ハ開敷ノ蓮華ニシテ。觀音ハ未敷ノ蓮華ナルコト。心ヲ得テ知ベシ。コレコノ蓮華。カノ妙法蓮華トア

異ナリトイハンヤ。先德ノイハユル。法華經ハ。阿彌陀ノ三昧ナリ。故ニ

〔1504オ〕

阿弥佛ヲ念ズルハ。卽法華ヲ念ズルナリ。サレバ觀經ニハ。密意ヲモツテ。若念佛スルモノハ。當ニ知ヘシ。コノ人ハ是人中ノ芬陀利華ナリト説。法華ヲ梵語ニハ。薩曇芬陀利ト名ヅケリ。觀經ニカク人中ノ芬陀利

華ト説ハ。念佛スルモノハ。卽人中ノ妙法蓮華ナルコトヲ云。ソノ外

種々ノ説ヲ出サレタリ。コ、ニハ畧シテ盡ハ論ゼズ。若且因果ヲ折

主伴ヲ論ジ。乃至體用理智ヲ分説ニイタツテハ。名ト相トノ差別ナキニア

ラズ。然ドモ其本體ニ約シ。又ハ因果不二。事理相即ニツイテ。論ズレバ。

ナンゾ曾異トセン。偏執スベキニアラズ。然ニ一槩ニ異

ナル邊ヲ執シテ。一往機ヲ導。建立門ノ抑揚ニ深泥。互ニ謗合。或ハ

ヒトヘニ同ノ邊ノミヲ取。假諦ノ行布門ヲ碍壞スルコト。トモニ宜カル

ベカラズ。蓋夫一切ノ佛法ハ。ミナ是一心ノ所詮ナリト云コト。釋門ノ

通論ニシテ。道俗ノ常談ナリ。コレコノ一心不可思議ニシテ。シカモ不

可得ナルガユヘニ。法華ニコレヲ難解難入ト説。天台ノ四教儀ニ妙法

者。卽是心也ト云ルコト。思合ベシ。然ニコノ一心分テ云トキハ。三

法妙ヲ具ス。所謂心法妙。衆生法妙。佛法妙ナリ。佛法妙ハ。唯佛ノ境

界ニシテ。果徳ノ法門ナレバ。太高シテ。觀ジガタシ。衆生法妙ハ。一

往ハ因果ニ通ズレトモ再往論ズレバ。先只因ニアリ。コレ亦大ニ廣シテ。

觀ジガタシ。素妙心體

具ノ理ナレバ。コノ心今因ニアリトイヘトモ。佛界及衆生界ニ通ズ。

華嚴ニイハユル。心佛及衆生。是三無差別ナレバナリ。コノユヘニ先心ヲ

觀ゼシム。心ヲ觀ズルニツイテ。第六識ヲ主トスト云リ。是台門ノ傳ル

トコロニシテ。正立行ノ體格ナリ。其説詳ニ佛心印記ニミエタリ。

具ニ二天台傳佛心印ノ記ト名。四明ノ云。無記ハ。徧八識ヲ該。善惡ノ心ハ。唯

ク虎溪ノ沙門據則ノ述トコロ也。徧八識ヲ該。善惡ノ心ハ。唯

第六識ノミナリ。然ニ一家ノ觀境ハ。第六識ニツイテ是ナリ。明ノ玄

〔1505オ〕

義二云。マサニ知ベシ無記ハ偏ハ識ヲ該。若善惡正ハ。唯六識ノミ。コノコレヲ以マサニ知ベシ。第六ハ善惡無記ノ三性ニ通ルガユヘニト。四明ノ説トアハセシメテ知ベシ

一心ノ妙法ヲ觀ズルニ。正第六識ヲ主攝スルコトヲ。茲ニ知彌陀如來ト云ハ。第六心王妙觀察智ニシテ。亦法曼陀羅ノ主ナリト。大日經開。一〇〇五ウ

トケリ。素人法不二ナルガユヘニ二ナク別ナキユヘンナリ。亦ソレ觀音ニ醫シテ第。素人法不二ナルガユヘニ二ナク別ナキユヘンナリ。亦ソレ觀音

ハ八葉蓮華ノ妙色ニシテ。第六意識ノ悲用ナリ。法華ニ八ノ數ヲ用。所謂ハ八箇年ノ説相トシテ。ツイニ八軸ヲ傳。序ニ八大龍王ヲ列。日月燈明佛ノ八王子。妙光法師ノ八百ノ弟子。乃至八歳ノ龍女ノタケヒ。コレヲ觀音ノ中ニ觀音ヲ供養スルニ。八種ノ供物ヲ用ルコト。コレノ理。亦普門品ノ中ニ妙法蓮華ヲ誦持セヨト説玉ハズ。唯念彼即數ノ中ニ寓スレバナリ

觀音力トノミノ玉フコトハ。蓋觀音即法華ナルコトヲ明スユヘンナリ。ナヲ密義ニ約シテ會釋スルコト。覺彦律師ノ法華ノ鈔。及無盡藏ノ礦石集ニ述記セルガゴトシ。ナヲサヲ廣一心ヲ判釋スルニ。人天三藏教。大乘始教。亦ハ空宗。終教。頓教。圓教ニ沙汰スルトコロ。或ハ事法界ニ約シ。亦ハ理法界ニ依。或ハ如來

藏識ニ本ツケ。亦ハ無障礙法界門ニ據。及ソノ中ニツイテ相即門。形奪門ナドアリテ。一心ノ建ヤウニ心得アルコト。古杭ノ慈雲灌頂ノ述ナル賢首五教儀ナドニ分ガゴトシ。茲ニ具ニイダスニ暇アラズ。吁一心スラナヲ不可得ナリ。イカニ况偏執ヲヤ

一〇〇六ウ

一〇〇七ウ

一〇〇八ウ

一〇〇九ウ

一〇一〇ウ

一〇一一ウ

一〇一二ウ

一〇一三ウ

一〇一四ウ

一〇一五ウ

一〇一六ウ

一〇一七ウ

一〇一八ウ

一〇一九ウ

一〇二〇ウ

一〇二一ウ

一〇二二ウ

一〇二三ウ

一〇二四ウ

一〇二五ウ

一〇二六ウ

一〇二七ウ

一〇二八ウ

ル西ニ見ツ。九十九嶋ヲ馳スギテ。漸平戸ノ湊助ノ浦ニツキヌ。コ、ニテ暫心ヲ休。風ヲミソナハシテ。亦船ヲイダシケルニ。帆影瀾ヲ衝テ片時ニ喚子及唐津ノ沖ヲ過。西ニ壹岐ノ嶋ヲ詠ヤリテ。東ニ元界ガ嶋ヲ指過。カクテ赤間ガ関ヲモ馳通テ。九州中國ノ間ニ及ヌ。スデニ日暮ケレバ。瀬戸内ニ錠ヲ下。一夜ヲ明ントスル處ニ。手代ノユメニ。一人僧枕本ニ來テ告玉ハク。コ、ハ太惡トコロナリ。必風難ニアフベケレバ。忿ニ湊ヲ易ヨト。時ニ手代夢心ニ和僧

ハイツカタヨリ來玉フニヤト問ニ。都六角堂ノアタリヨリ來レルナリト。ノ玉フト思フト。ユメハソノマ、醒タリ。驚起テ四方ヲ顧ニ。所謂江楓ノ漁火。ホノカニ愁眠ニ對スル計ニテ。イマダ風浪ノ氣色モミエズ。然トモ慥ナル示驗。心ニ徹シテ覺ケレバ。急船頭ヲ起テ。夢ノ趣語ツ、免角湊ヲ易ベシトイラデケレバ。船師檝老ナニ事ニカト噪キテ。信ズル人モアリ。亦ツバヤクモノモアリケリ。カクテ各碇引上。梶取ナラシテ。心付タル湊ヘゾ移ケル。アラユル類船ハ音モセズ。漸空ノ氣色カハリテ。風波大ニ興。終宵客船ノ魂ヲ消ヌ。後ニ聞ハ。初ノ湊ニ泊シ船ハ大形破損シタリシトナリ。シカルトコロニコノ船ハ。ヨキ

一〇二九ウ

一〇三〇ウ

一〇三一ウ

一〇三二ウ

一〇三三ウ

一〇三四ウ

一〇三五ウ

一〇三六ウ

一〇三七ウ

一〇三八ウ

一〇三九ウ

一〇四〇ウ

一〇四一ウ

一〇四二ウ

一〇四三ウ

一〇四四ウ

一〇四五ウ

一〇四六ウ

一〇四七ウ

一〇四八ウ

一〇四九ウ

一〇五〇ウ

一〇五一ウ

一〇五二ウ

一〇五三ウ

一〇五四ウ

一〇五五ウ

乗シテ。到玉ヘルナリ。師感喜ノアマリ。カノ形像ヲ模留レ。 ⑩08オ

今ニ傳玉ヘリ。一葉ノ觀音ト稱ズルハ是ナリ。具ニ八道元和尚ノ紀年録ニシルスガゴトシ。ソレ觀音薩埵ノ風波ノ難ヲ救玉フコト。和漢ソノ例スクナカラズ。晉ノ富平ノ樂苟ガ船軍危ニ臨テ一心ニ觀音ヲ念ゼシカバ。大聖形ヲ現ジ。ツイニ陥溺ル難ヲ遁シコト。冥祥記ニノセ。

唐ノ岑文與江ヲ渉ルニ。中流ニシテ船破壊シツ。其身スデニ沉トセシカバ。一心ニ普門品ヲ誦ズルニ。忽岸ニ到コト。法華感通傳ニミエタリ。

ソノ外法苑珠林ニアツムル。竺ノ法純宋ノ惠慶及宋ノ福萬壽等ノ類。一々載ニイトマアラズ。亦明ノ劉谷ツネニ普門品ヲ誦ズ。時ニ海外ノ諸國ニ使テ。大船ヲ泛ニ。誤船ヨリ落タリ。人々周章。 ⑩08ウ

騷ドモ。巨艦順風ニ乘シテ。飛ガゴトクナレバ。如何トモスベキヤウナク片時ノ間ニ。スデニ數十里程モ。隔ント思ニ跡ヨリ長一丈アマリナル大魚劉谷ヲ背ニノセ。船ニ追着テタスケタリツルコト。善餘堂ガ筆乘ニ記セリ。亦已求書ニノス。大清秣陵黃土山ノ劉子ハ其母觀音ニ祈設シ子ナリ。長テ後船ヲ南海ニ浮テ。生身ノ觀音ヲ拜瞻センコトヲ祈ニ。果テ海上ニ蓮華ヲ現ズ。ソノ大サ車輪ノゴトシ。ソノ華ノ中一輪ニハ一男アリ。又一輪ニハ一女アリ。コレ蓋シテ右ノ侍者ナラン。世カクテ觀世音一太蓮華ニ乘シテ。浮イデ玉ヘリ。劉子信心肝ニ銘ジテ。虔禮拜スルニ。乃華ト共ニ隱玉ヘリ。ソノチ大風波ヲ簸テ。船覆人死ス。 ⑩09オ

然レトモ。一僧忽現シテ。劉子ガ手ヲ引テ。波ノ上ヲ歩シムルニ。衣服全ウルヲハズ。ツイニ恙ナク家ニ歸。再慈母ニ遇コトヲ得タリト云云。觀音持驗記ニ都觀音ノ靈驗ヲ列中ニ。多水難ヲ免シムルコトヲ載テ。因ニ唐宜之ガ説ヲ引テ曰嗚呼觀世音菩薩ノ人ヲ苦難ノ中ニ救玉フ事。カナラス。必シモ海中ニアラジ。然トモ海中最多トイヘリ。蓋惟ニ。人風浪

ノ險ニアフテ。一命須臾ニアルガユヘニ。更ニ餘念ナク。至心ニ專注スルユヘニ。感應モ亦速ナルニヤ。抑コノ頂法寺ノ觀音ト申シ奉ハ。山城國愛宕郡ニアリ。ソノ六角堂ト名カノ縁起ノ書ヲ按スルニ。ムカシ淡路ノ岩屋クルコトハ。堂ノ形六稜ナルガユヘノミ。カノ縁起ノ書ヲ按スルニ。ムカシ淡路ノ岩屋ノ海濱ニ。小唐櫃ノ鎖サシナガラ。浪ニ。 ⑩09ウ

打ヨセタルヲ。聖德太子偶渚ニアソビ玉ヒ。コノ篋ヲミソナハシテ。啓玉フニ。二臂ノ如意輪ナリ。長一尺二分。一太子大ニ悅玉ヒテ。奉持敬禮シ。身ヲハナチ玉ハズ。後コノ本尊ユメニ告玉ハク。吾汝ノ爲ニ持セラルル事。スデニ七世ヲ經タリ。今亦コノ地ニ縁アリ。コ、ニ留テ衆生ヲ度セント云云。ツイニ大杉一株ヲ以テ他ノ木ヲ交ズシテ。一宇六稜ノ堂ヲ造。以コノ像ヲ安ジ玉ヘリ。 ⑩09ウ

ト宜ナルカナ

肥州間ノ嶋手觀音ノ縁起ノ事 附タリ船玉明神ノ事

或僧ノカタラレシハ。我ワカ、リシ時薩州ニ趣コトアリキ。頃シモ中冬ノ初ヨリノ事ナレバ。海ノ面モ穩ナラズ。時雨ノ名殘。シバシバ蓬窓ニ洒デ。アソコノ浦。コ、ノ湊ニ漂泊シケル程ニ。旅魂轉モノウク。無常ノ心ヲコリカチナリ。シカシ月ノ明ナル夜ハ。舩ヲ扣テ。東坡ガ赤壁ノ興ヲ催サ、ルニモアラズ。東坡文集ニ前赤壁ノ賦後赤壁ノ賦共ニ名文ニシテ。日ノ温ナル時シモハ。山ヲ詠テ。中峯ノ船居ノ詩ヲ吟ズルニ慰トイヘドモ。元ノ天目山峯和尙船居ノ詩十首アリ。其三ノ頸聯ニ云。千里瀟湘波裏浮。一川風月任逢迎。具三篇集ニノスルガトシ。潮馴衣片敷テ。夜ヲ重日ヲ連。波ニ洶テ。浮沉。マコトニ世ヲ厭心ノ。ゴノ船ノ住居ヲ厭ガゴトクアレカシナド。獨コチテ。スギ行程ニ。臘月初ニ元界ガ灘ニイデ。左ニ九州ノ山々列テ。數盡ニイトマアラズ。右ニハ西洋萬里ノ沖。煙水渺々トシテ。限ナシ。浪ノ際ニ点々タルハ。 ⑩10ノ15ウ

瀟々トシテ。限ナシ。浪ノ際ニ点々タルハ。 ⑩10ノ15ウ

嶋鳥帽子嶋トヤ。不言ノ嶋ト間ノ嶋ト指向リ。其間 殆十餘里バカリナ  
ルベシカクテ間ノ嶋ニ船ヲ繫ヌ。肥前ノ國 ヲツテ同行ノ僧ト。船ヨリアガリ  
テ。磯邊ヲツタヒ行キ。平山ニサシカ、リヌ。岩間ヲ分テ登ニ。サシモ高  
カラヌ峯ノ上ニ。小キ叢社ミエケリ。イカナル神ヲ祝置タルニカト。差  
ヨリテミルニ。社ノ戸啓アリシ中ニ。一尺アマリナル。立像ノ千手觀音  
イマス。薄ニテダミタル體マコトニヒナビタリ。ソノ傍ニ枯木ノコトキ  
モノヲ。立置タリ。ヨクヨクミレバ。コレモ佛像トミユ。イカナル靈像ニ  
カト怪ナガラ。先伏拜ヌ。カクテ山ヲ下テ。漁村ニ指カ、リ。所ノ翁ニ  
コノコトヲ問ニ。翁ノ云。近昔一ノ老嫗アリ。折々コノ濱ニ  
イテ、薪ヲ拾ニアル時二尺アマリノ。朽木流レヨレリ。老婆ヨロコビ  
コレヲ拾。カクテ家ニ歸。ステニ打破薪トナサント。斧ヲ振アグルニ。  
忽眼昏テ。心慌タリ。因斧ヲ投ステ。暫心ヲ靜テヨクヨクミレバ。  
手多佛ニテヲハス。老婆驚アタリノモノヲ。呼アツメテ。コレヲミセ  
シムルニ。サダメテコレ千手觀音ニテ。御座ント云ノ、シリテ。各力ヲ  
合テ。アノ山上ニ堂ヲ建テ置タテマツリヌ。處ノモノドモ信心シテ。願  
ヲカクレバ。シルシアルトゾチカキコロハ。新佛一體造立シテ。並置タ  
リト云云。吁觀世音ノ淡悲ナル。カ、ル孤絶ノ嶋マデモ。漏シ玉ハヌ。御  
誓ノ程。カヘスガハスモ。アリガタケレ。カクテ船出ニコソト噪バ。イ  
ソギウチ  
ノリ風ニ任テ。スギ行ニ。所謂棹穿波底月。船壓水中天ト。按ズルニ。  
嶋船頭トナリテ。高麗ノ使ノ船ニレリ。高麗ノ使。詩人テ沙鳥浮還没。山雲斷復連ト云句ヲ。ツクリ  
タレバ。賈嶋下ノ句ヲツケリト云。コレ蓋唐土ノ人ハ。船頭マデモ。カク詩ヲアルニコソト。異國ノ人ニホコラ  
ントニヤ。コレヲ過海聯句トナツク。コノコト詩人ヨルル。夜畫ウチ誦シテ。肥州鷺ノ巢ト云トコロ  
玉屑及氷川詩式。唐詩鼓吹等ノ諸書ニノセタリ。リヤウザンク。チイサキナト。  
ニ船ヲカケヌ。コノトコロハ。兩山隈ニテ小湊ナリ。船子共ステデニ船  
ヲ出サントスルニ。船頭ノ云。夜前船玉明神ノイサミ玉ヘリ。心ニカ、レ

バ。コノ船マヅイダスベカラズト。時シモ天晴波穩ナレバ。船客ミナイ  
カナルコトニカト。怪。船子共ハ各船頭ノ命ニ應ジテ。手ヲ拱シテ靜  
ヌ。抑船玉明神ト申奉ルハ。船ヲ守護シ玉フ神ナリ。船頭帆檣ノ本ノ傍ニ。  
小棚佛壇。シツラヒ置テ。毎日食ノ初尾ヲ供養  
ス。後ニハ余ヲ供僧ニタノミテ。コレヲ主ラシム。乃心經神咒ナト。  
法施シテ各二代テ。加被ヲ乞船頭云。船玉明神ノ御告ハ。船ニヨツテ換  
アリ。或ハ舳ニイサミ玉フニ。吉コトアリ。凶コトアリ。或ハ舳ニイサミ  
玉フニモ。吉アリ。凶アリ。各ソノ船ノ例ニシタガフ。コノ船ハ。舳ニイ  
サミ玉フハ。宜カラズ。夜前ハ舳ニイサミ玉ヒシナリ。其聲松蟲ノゴトシ  
ト。鳴玉フトイハバ。イマイマシクキコフルユヘニ。イサミ玉フト云ナリ。惣シテ西國ノ松ニハ。忌詞ヲ  
ホシ。船玉ノイサミ玉フハ。或ハ松蟲ノ音ノゴトト云。又ハ松蟲ノ吟ノ如ト云リ。キ、シラヌモノハ心  
ツカケテ風ヤ、吹イデ。雨雲重覆テ。大ジケニナリタリ。コ、ニヨイ  
テ。滿船ノ人々甚信感ヲ凝。昨日若コノ船ヲイダシタランニハ。総テ片  
板トナツテイヅレノ磯ニカウチヨセラレ。人ハ定テ江魚ノ腹ニ葬レナン  
ニ  
カ、ル現ナル御告コソ。有難和光ノ御誓ノ朽セヌニコソト。各手ヲ合  
祝喜ケリ。神書ヲ按ズルニ。船玉ノ明神ハ備後ノ鞆沼隅ノ郡ニ。跡ヲ  
垂玉フ。渡ノ社ト号スル是ナリ。卜部ノ兼邦ノ説ニ猿田彦ノ神ナリト云。  
神代ノ卷ヲ按ズルニ。瓊々杵ノ尊コノ界五天降玉フ時ニ。コノ神天ノ八達ノ地ニタツテ。迎玉シカル  
ヘリ。ソノ相光威靈ナリ。時三天ノ細女ノ命向テ問答シ玉フコトアリヌ。具ニ神書ノゴトシ。然ニコノ  
神備後ヲ本社トスルコトハ。昔神功皇后三韓御退治。發向ノ時。コノ浦  
ニテ船揃シテ。兵糧ナド。積セ玉フ時ニ。船路守護ノタメニ。船玉ノ明  
神ト祝奉。玉フトゾ。亦唐船ノ守護ニ。菩薩ト稱ズルハ。所謂第一媽祖  
ノ事ナリ。亦ハ姥媽トモ号ス。本ハ福建興化ノ林氏ノ女ナリシガ大海ニ没  
シテ。神トナリ。神威靈驗ニシテ。渡海ノ船  
ヲ守トシテ誓空カラズ。因テ天妃ノ尊号ヲ諡ス。亦ハ聖母ト稱ズ。乃

觀世音ノ化身ナリト云。或説ニ。薩摩國野間權現ハ。則姥媽神ナリ。野  
間ハ。スナチノフマ。コトクワキツウシヤウカウ。通商  
求林齋撰。初メニ卷アツテ。ステニ世ニ。ソレタウシ  
草橋ノ書ニテ。誤アルヲ以。正増テ五卷トス。夫唐人ノ菩薩祭ト云ハ。コノ媽祖。  
即觀音薩埵ノ化身トスル故ナリ。大海ハ。翅風浪ノ難ノミニアラズ。鯨  
鯨ハ更ナリ。或ハ大風ヲ起大魚アリ。亦ハ身ノ長三十丈ニシテ頭ニ大  
ナル穴ニツアリテ。其ヨリ水ヲ吐出コト河ノコトシ。若大船ヲミルトキハ。  
頭ヲ擡來テ。水ヲ船中ニ吐トキ。水忽船ニ滿テ乗沉アリ。亦觜長  
齒鋸ノ如魚アリ。力強勢猛。コノ魚。一〇八  
觜ヲ船ニ觸バ。船スナハチ破。亦一魚アリ。ソノ大サ數十丈力其強。  
船ニアフトキハ首ト尾トヲ以。船ノ兩方ヲ抱コレヲ擊トシテ。船中騒動  
スル時ハ。船即覆ト云。コレヲノ惡魚アルヲ以テ大海ノ中ニテハ。  
時々大鳥銃ヲ放。海魚ヲ驚。遠トイヘリ。危懼ル事少カラザレバ。  
佛神ノ擁護ヲ仰ズンバ。アルベカラズ。ユヘニ船主松頭舵工ナドハ。船取ナリ。瀋  
信心ナルモノ多トイヘリ。阿蘭陀ノ舟人ノ云。

#### 四 地藏菩薩ニ女子ヲ祈テ乃授玉フ事

洛陽岩神通ニ信心ナル夫婦ノモノアリケリ。或トキ夫妻ニカタラク。  
我々男子ハアママ持タレトモ。女子一人モナケレバ病煩。一〇九  
ナドスル時モ。真成ニ看病スルモノナシ。他ノムスメノ親ニシタシミ事  
ヨミルニツケテモ。浦山シ。イカゞハセント云ケレバ。妻ノ云。マコトヤ  
地藏菩薩ハ。御慈悲深ヲハシマシテ。人ノ願ヲモヨクカナヘサセ玉フト  
キ、シ。一向ニ頼奉テ。見侍ナンヤトイヘバ。夫ノ云。我モカク思  
寄シゾカシ。イザサラバ。壬生ノ菩薩ニ願申見ントテ。夫婦相伴マイ  
リテ。至心ニ祈ケリ。コレヨリ後モ折々歩ヲ運ケルニ或夜妻ノ夢ニ。地藏

菩薩端嚴ナル粧ニテ。不圖來セ玉ヒテ。持玉ヘル錫杖ノ先ヲ。カノ  
妻ノ口エ入サセ玉フトミテ。夢覺ヌ。カノ妻ウチ驚テ。由ヲ夫ニ語ケレ  
バ。夫申ケルハ。其ハ定テ女子ヲ與玉ハントノ瑞相ナルベシトテ。悅  
ケルガ。ソノ夜明テ

妻心持例ナラズ。煩ハシカリケレバ。イカナルコトニカト。親人々々ツ  
ネ問ケルガ。果シテ懷妊ニ極ケリ。ステニ滿月ニ及デ。玉ノゴトキ女子  
ヲ生ケリ。夫婦ハ申ニ及ズ。眷屬各會來テ。悅賑ニケリ。偕月日ヲ  
經ニ隨テ。美ク賢サ。言カタナシ。カクテ十六歳ニ至ヌルコロ。父母  
カノ娘ヲ縁ニツケンテ。様々用意スルヤウヲ見テ。御二人サマニハ。何  
ヲカ營セ玉フニヤ。我ハ頓死ニ侍ナンモノヲトイヘバ。父母大ニ驚テ。  
コハイマイマシ。ナニゴトヲ云ゾ。ソレ程ニ色ヨク形健ニシテ。ナニノ  
病モナキニ。カ、ル事コソ心得ネト。イミシフ心ニカケテ。悲ケリ。カ  
ノ女云ヤウ。生者必滅ノ世ノ習ニテ。侍バ。タレカハ止侍ベキ。タ  
トヒ色麗形健ナリトテ。頼果ベキ

浮世ニアラズ。唯願ベキハ。菩提ノ道ニテ候ヘト。却父母ヲス、メケリ。  
カクテ幾程ナク煩ツキ。手足アソッコ、痛由云ケルガ。次第ニ頼少ナ  
リケリ。父母ナゲキ惑コト。イハンカタナシ。或日申ケルハ。我ハ今日  
日中ニ果ナン。父ハイヅクニヨハシケルニカト尋ケレバ。折フシ父ハ東寺  
ヘマイリケリ。娘申ケルハ。早歸ラセ玉ヘカシ。御暇乞申タシト待兼  
ケルガ。程ナク歸ヌ。時ニカノ娘父母ニムカヒ日ゴロノ深恩ヲ蒙シ事ヲ。  
懇ニ謝辞シテ。睡ガゴトク終ケリ。父母ユメ幻ノ心地シテ哀惋腸ヲ斷  
中々跡ニ片時モナガラフベキトモヨモホヘズ。特二年ゴロ他ニスグレテ。  
孝行ナリシハ。今ハ思ノ種ナリケリ。コレヨリ父母厭離ノ心深ナリ。菩  
提ノ信モ増進シケルトゾ。或律師

ノ許ニイタリテ。泣々自語ケル。言ノ葉草ノ長々シウ哀ナルヲ畧シテ  
コ、ニ記侍ヌ。吁菩薩應化ノ大悲心。現ニ童女トナリ來ラセ玉ヒ。先  
カレカ願ニ應シテ。マメヤカニ孝養ヲ盡。ツイニ無常ヲ示テ。長菩提ノ  
道ニ入玉フ。シカラズンバ。争カスコヤカナル時ニアタツテ。父母ニ無  
常ノ理ヲ説テ。自死スル期ノ近ニアルコトヲシランヤ。若菩薩ノ應身  
ニアラズトイハハ。抑マタ宿願ニ乗シテ。來レル人カ。ムカシ中將姫法  
如ハ。右僕射豊成公夫婦長谷ノ觀音ニ祈玉ヒシ啓子ナリ。シカルニソノ  
横難ニ遇テ。僅ニ命ヲノガレ。ナラヒ玉ハヌ山住ニ。身ヲ苦。心ヲ傷シ  
メ。而モ壽ズシテ。井九歳ニシテ終玉フ。若浮世ノ榮ヲ貪眼ヨリ  
コレヲミバ。靈驗ナシトイハンカ。若世ヲ厭  
菩提ヲ求心ヨリシテコレヲイハハ。自他生々世々ノ勝縁。其利益限ナ  
キモノ歟。中將姫ノ言ニ。コノ身ヲスツルハ。ステヌモノナルニ。愛シ  
テナヲモコノ身ヲ苦コトコソアサマシトイヘリ。マコトニシカルカナ。  
亦夢窓國師ノ曰。佛神ニ今ノ世ノ事ヲ祈求ハ。タトヘバ國守ニ紙壹枚  
斯望スルガゴトシ。何斯願ヲ望ザランヤ。ナンゾ佛神ニ無上菩提ヲノゾ  
マザルヤト。併觀テヨクコレヲ味ベシ。夢窓國師ノ言ハ。霧海南針ニイツ夫夢窓國師モ。亦觀  
音ノ啓子ナリ。諱ハ智曜姓ハ源氏宇多ノ天皇九世ノ孫ナリ。九歳ニシテ。  
出家シ。十歳ニシテ法華經ヲ誦ズルコト七日。以テ親ノ恩ヲ報ズトナリ。  
後一山寧和尚ノ侍者トナリ。亦萬壽寺高峰日和尚ニ參ジテ。 ⑤21ウ  
頓ニ省アリ。遂ニ將軍家ノ歸依ニ遇。三朝ノ帝師ト成テ。諸ノ禪利ニ住  
持シ。齡七十七ナリ。詳ニ扶桑禪林僧寶傳ニミエタリ。高泉和コレヲヒイテ  
啓子ナルハ。必命ノ短ト云ニアラザル證トスルノミ。各業縁同カラ  
ザレバ。壽夭モ亦異ナルコトアラン。蓋思フニ菩薩ノ子ヲ祈ニ應ズルヤ。  
時機ヲ鑑。業縁ヲ察シテ。其宜ヲ與ナルベシ。是利益モ亦淺深廣狹

アルユヘンナリ

五 施餓鬼ノ功德因縁ノ事 附タリ婦口ノ因縁

或僧ノ語ケルハ。我自菴ノ傍ニ。比丘尼菴アリ。素禪宗ニシテ。其ツ  
トメ懈ザリケレバ。近隣ノ人モ奇特ナリト思リ。コトニ ⑤22オ  
財寶ナドモ豊ニシテ。見分モ宜ケレバ。問來人モスクナカラズ。其人本武  
家ノ後室トヤランニテ。ユカリノ人ト名ノルガ。ツネニ入來レリ。イツノ  
程ニカ云語テ。ソノ畜トコロノ金銀ヲカレリ。コレヲ廻テ利息ヲ取。  
幾久衣食ノ料ニ。殖マイラセナント。言ヲ巧ニシテ。折々ハ利息ナド。  
持來レバコノ尼モ欲ノタメニ計テ。筐ヲ傾アツケニケリ。カクテ日ヲ經  
テ。コノ人フツニ來ズ。イカナルユヘニヤト。人ナド遣ニ。今日ノ明日ノ  
ト云ノベテ。月ヲ越トモ。スベテミエズ。後ニハタゞ先ソノ金ヲ返玉ハ  
レト。云送ニ。兎角云紛カシテ。少モ返ネバ。初ノ程コソアレ。カノ尼  
モ萬乏ナリ行。一鉢ヲ擎テ。漸身命ヲ送ケルガ。コレニモ退屈シ。ツ  
イニ煩ツキ ⑤22ウ  
テ。頓死ニケリ。乃賣菴ニナリシヲ。或新發心ノ僧コレヲ買取テ。住ケ  
リ。ソノ近キワタリニ。黃壁派ノ老僧菴ヲシツラヒ住ケルガ。カノ僧住  
菴ノ後。一兩日スギテ。尋來テ云ケルハ。我ハ其ノ菴ニ住僧ナリ。菴ニ  
移シ夜ヨリ。齡スデニカタムキタル禪尼ノ文ノヤウナルモノ多。手ニ持  
キタリ。カタハシヨリ開ヨミテ。コレミタマヘ。カ、ル慥ナル。手形ウチ  
シテ。金カヘサヌ法ヤアル。老タル尼ニ憂目ニスル惡事ナリナド云訕テ。  
カキケシウセヌ。毎夜時ヲモタガヘズ。イデ、言シロフ事モ。同通ナ  
リ。其懼サ。イハンカタナシ。カクテハ中々住菴ナリガタシ。ナニトゾ  
施餓鬼ナド讀テ。玉ハレ。先其アリサマヲミタマヒナガラ。今宵來玉ヘ

カ  
シト。ネンゴロニ頼語バ。老僧モ黙止ガタケレド。折シモ禁足ノ中ナレ

①⑤23オ

バ。ソノ行事ヲ辞シツ。タゞ叮嚀ニ施餓鬼ヲ修シ。吊ヒミントテ。其日供  
物ナドヲ相調テ。如法ニ修行セラレケレバ。其夜ヨリ來ズナリス。次ノ  
日カノ僧來テ。喜コトカギリナク。施餓鬼ノ効驗ヲ。イミジク讚嘆シヌ。

夫施餓鬼ノ法ハ。本救面然經ニミエタリ。藏經ヲ按ズルニ。コノ經ニ二  
通アリ。一ツニハ實叉難陀ノ譯ヲ救面然經ト名ケ。不空三藏ノ譯ヲ救  
焰口經トナツク。コノ經ニハ。四如來ノ加持アリ。亦實叉難陀ノ譯スル  
トコロノ救面然經ニハ。變食ノ眞言ト。甘露水ノ眞言ノミニシテ。四如

來ノ加持ナシ。其經ニ若ハ善男子善女人アツ  
テ。長壽。福德。增榮ヲ求。速ニ檀波羅密ヲ満足セントヲモハ。常ニ  
晨朝及一切ノ時ニ於テスルモ。悉。障得ナシ。一ツノ淨器ヲ取。淨  
水ヲ盛。少ノ飲。及諸ノ餅飯等ヲ置。右ノ手ヲ以テ器ヲ按ジ。咒

ヲ誦ズルコト七返。加持シ了。彈指スルコト七下シ。淨地ノ上ニツイテ。  
臂ヲ伸テコレヲ移ベシトイヘリ。瑜伽集要。救阿難陀羅尼ニ。或ハ地上ヲ淨。或ハ大石ノ  
面ノ石ヲ置テ。食ヲ石上ニアク是也。亦石。石。コノ經ニ。善男子善女人トアルヲモツテ。

榴及桃ノ樹ノ下ニツイテスレバ鬼神恐テ食セズ。マサニ知ベシ。其法在家ノ男女ニ通ズルコトヲ。阿難コノ二咒ヲ世尊ヨリ  
受テ。焰口餓鬼及餘ノ諸ノ鬼ノタメニ。修行セラレシカバ。餓鬼等飲食  
飽滿スルノミニアラズ。ツイニ天ニ生ジ

テ。樂ヲ得。阿難ハ壽命長延タリ。實ニ知ヌ自他現當ノ利益。最甚  
深ナルコトヲ。變食ノ眞言ヲ救面然經ニハ無量威德自在光明勝妙力

ト名ク。カノ經ニトケル。三宝供養ニハ。二十一。施餓鬼等ニハ。七。反。夫鬼ハ。幽陰ノ物ニ  
シテ。ソノ食時夜ナレバ夜陰ニ修行スルコト。最相應ナリ。シカレトモ  
コノ經ニ毎ニ晨朝。及一切時ト云文ニ順ズレバ。時ニ拘ズ。コレヲ施ス

ベシ。無住禪師雜談集ニ。ムカシ山寺ノ先師ツネニ菓子等ノモノ酒ナドモ

①⑤24オ

アル時ハ。モノホシキモノ多カルランモノニムケヨトテ。チトステステ。

セシヲ。若侍リシ程ハ。ミコミコシクト思テ。イト然ルベシトモ。思  
侍ザリシニ。ムカシニテ侍リシ僧。鬼ニナリテ。靈托シ

カノ御房ニサンジテコソ。モノハ玉ハリテ食スレト。申シケルコト。  
承リシユヘニ。チカコロハ。殊ニ施餓鬼ノ一分ト思ヒテ。マツ與侍リト  
カ、レキ。サレバ永明ノ延壽禪師ノ傳ノ中ニハ。永明ノ傳諸書ニイフ。亦ニ衆ノ

タメニ菩薩戒ヲ授。鬼神ニ食ヲ施シ。諸ノ生ル命ヲ放テ。悉。莊嚴淨  
土ニ回向スト云ヘリ。毗羅三昧經ニ。且ハ天ノ食時。午ハ法ノ食時。暮ハ畜生ノ食  
ノ變食ノ眞言ノ功ニ依。アラユル百千俱胝那由他恒河沙數ノ餓鬼ノ一々ノ  
餓鬼前ニ。各摩伽陀國ノ斛ニテ七七四十九斛ノ食ト化シテ。遍飽滿セシ

ム。シカモコノ餓鬼。悉。餓鬼ノ身ヲステ。天上ニ。生ル。詳ニハカノ經  
所謂維摩丈室ノ中。一盃ノ香飯。悉。衆會ヲ潤テ。匱コトナク。亦涅槃會上ニ純陀ノ少飯。雙林ノ大衆ニ

周ガゴトキ。蓋コレ心造不思議ノ德ニシテ。佛力法爾ノ理ナリ。何ニ  
况。秘密神咒ヲ用テ。コレヲ加持スルヲヤ。鬼神ハ云ニ及ズ。コレヲ修ス  
ル人モ。亦業ヲ轉ジ災ヲ免。命ヲ延ルコト。カノ經及楊鐸ガ水陸大齋

靈跡記ニ。コノ書ニ梁ノ武帝ノ夢ニ高僧ヲ感ジテ。サメテ後誌公ニ談ジテ。廣藏經ヲ搜。コノ救面然經ニ本  
絶タリ。ソノ後大唐ノ咸亨中ニ。法海寺ノ英禪。キノ後陳隨ノ兩朝ニ至。ソノ事  
師異人ノ告ニヨツテ。再世ニ流布セリト云云。ミエタリ。其後越王金山水陸ノ齋ヲ隨喜シ

玉ヒ。百畝ノ田ヲ施入シテ。自疏ヲ製シ。月波山ニツイテ。四時コレヲ  
行シム。宋王コレヲ聞玉ヒツ。睿感アサカラズ。水陸無礙道場ノ勅  
額ヲ賜ヌ。コレヨリ法會増隆

ニシテ修供轉。謹。カクテ月波山ヲ去コト一里計ニシテ。尊教寺ト云ル  
アリ。カノ月波山ノ軌則ヲウツシ慣テ。僧徒濟々トシテ。方ニコレヲ修

①⑤25ウ



ス。隨喜スルモノ三千人ニ及ベリ。各財ヲ抛。田ヲ施テ月波山ト並傳ヌ。但越王ノ疏文ハ。專君臣ノ深恩ヲ報ズルコトヲ主トシテ。貴賤。貧福。怨親。顯冥ヲイテ。平等普度ノ文ニ乏。志磐ニ議シテ新儀六卷ヲ撰ゼシム。亦名位ニ準テ。畫像ヲ設コト二十六軸。ヨツテ月波山ノ住持宗淨尊丈ニ請テ。校閱セシム。宗師校合シテ。其詳ニ備ヲ嘉ジテ。亦ソノ軌則ニ因テ行。今弘トコロニ。廣略ノ二本アルコトハ。其源大率コ、二分タリ。 ①⑤26オ

亦餓口ト名ツクルコトハ。源救餓口陀羅尼經ヨリイデ、餓口餓鬼ヲ救コトヲ主トスレバナリ。シカレトモアニヒトリ。餓口餓鬼ヲ供養スルノミナランヤ。長蘆ノ願禪師ノ水陸緣起ニ云。詳スルニ。夫水陸會ト云ハ。上ハスナハチ。法界ノ諸佛諸位ノ菩薩。緣覺。聲聞。明王。八部。婆羅門仙ヲ。供養シ。次ハ則梵王。帝釋。二十八天。盡空ノ宿曜。一切ノ尊神ヲ供養シ。下ハ則五岳江海。大地ノ龍神。往古ノ人倫。阿修羅衆。冥官ノ眷屬。地獄ノ衆生ノ幽魂滯魄。無レ主無レ依。諸ノ鬼神衆。法界ノ衆生ヲ供養スト云云。コノユヘニ焔口ヲ執行人ハ。特ニ慎ズンバアルベカラズ。 ①⑤26ウ

施食大要ニ云。凡食ヲ施ントスル時。必悉雜事ヲ捨離シテ。一毫ノ意アリト云トモ。亦マサニ都テ放下スベク施食ノ處ハ。ヨロシク幽ニ靜ニシテ。雜ル聲ナルベシ。施食ノ時ハ宜。專一ニシテ雜念ナク。マサニコノ心ヲ普シテ。以大供養ヲナスベシト云云。亦雲棲大師竹窓三筆ノ中ニ。施食師ノ用心ヲ説リ。所謂餓口施食ハ。教ヲ阿難ニ啓。蓋瑜伽部ノ攝ナリ。瑜伽ハ。大ニ唐ノ金剛智廣大不空ノ二師ヨリ起。能鬼神ヲ役使シ。山海ヲ移易。威神ノ力不可思議也。數傳ノ後。ヨクコレヲ嗣モノナシ。存スルトコロハ。タゞ施食ノ一法ノミ。手ノ印ヲ結。口ニ咒ヲ誦シ。

心ニ觀ヲナス。三業相應ノイヒナリ。瑜伽ノ事易ニアラズ。然ニ今印咒イマダ必シモ精カラズ。シカモ况觀力ヲヤ。サラニ相應セザルナリ。相應セザルトキハ。タゞ利生スルコトアタハザルノミニアラズ。或ハ反己ヲ害スルニイタル。下ニ餓口ヲ修スル人。心餘念ニワタツテ。ツ、シマズシテ。却利ヲ失コトヲノス。又コノ文ヲ通會スルニ。初梁ノ武帝ノ時ハ。甄經ノミニニ。撰述シ玉ヒ。ソノ後唐ノ世ニ至テ。定テ印咒ヲ加ルナラン。亦宋ノ志磐ノ儀文。精密簡易。ソノ本初天台四明ノミニ傳テ。餘方ニアルコトマレナリ。然ラ雲棲大師校合。コノ餓口ノ法ハ。其事叮嚀重大ナレバ。容易修シヤスカラズ。コノユヘニ信善男女。ソノ本經ニ依。變食ノ咒。及甘露水ノ眞言ヲ受傳テ。常ニ修シテ然ベシ施餓鬼ノ功德靈驗。諸書ニノセ人口ニ遍ケレバ。畧シテコレヲ載ズ ①⑤27ウ

④ 梁皇懺並二水懺ノ功德緣起ノ事 附タリ諸懺悔ノ法ノ事

梁皇懺ト云ハ。梁ノ武帝ノ后郗氏ト云シハ。柳ノ黛。華ノ顏。類稀ニワタラセ玉ヒシカド。嫉妬ノ心フカク在マシテ。六宮ノ中ニ思ヲ傷身ヲ損モノヲホカリシ。ソノ業ニ牽レテ薨シ玉ヒテ後。她身ヲ受玉ヒ。種々ノ苦堪ガタク在ナレバ。昔ノ因ヲ思テ。救ハセ玉ヘカシト。或夜忽蟬身ヲ禁庭ニ現シテ訴歎セ玉ヘバ。帝ササガニ哀ニ思召テ。遍知識ヲ集テ。ソノ法要ヲ議シ玉フ。ツイニ誌公ノ勸ニヨツテ。精藏典ヲ搜索。廣十方ニ亘。遠三際ヲ貫テ。懺悔ノ文ヲ撰ズルコト。九十卷。諸佛菩薩ノ御名ヲ列テ。衆僧ヲシテ。禮懺セシム。 ①⑤28オ

カクテ玉殿ノ内異香馥郁ス。イカナルユヘニカト。怪處ニ一ノ天人天降。固ニ天津乙女ノ妙ナル兒。菩薩ノ來現シ玉ヒヌルニヤト。驚見ニ。カノ天人徐ニ帝座ニ降近テ云。我ハ是郗氏即蟬也ノ轉ゼシ身ナリ。帝ノ追薦ノ功德ニヨツテ今切利天ニ生ズルコトヲ得タリト云。コノ事始終詳ニ梁皇懺ノ緣起序ニミエタリ。ソレヨリコノカタ。千有餘載。和

漢ナヲコノ禮懺ヲ修シテ。追善或ハ祈禱トナスコトハ。廣博ニシテ微細ニ。平等ニシテ。慇懃ナルユヘニ。感應最スミヤカナルニヨツテナリ。山菴雜錄ニ載トコロ夏太山ト云人。水ニ溺テ死シタリシ後其妻陳氏淨行ノ僧十人ヲ請シテ。梁皇

1528ウ

懺ヲ修セシムル時。護法韋駄尊天。幻ノゴトク宜便ト云ル沙門ニウツリテ。夏太三ガ魂ヲ攝シ來テ。法會ニ遇シムルコトヲノセ。亦元ノ至正ノ間。高氏ナルモノ。梁皇懺ヲ修スルニ。顏輝カ畫ル觀音ノ像ヨリ。光ヲ放證明シ玉ヒシコトヲ記。亦竹窓隨筆第二。六朝ノ時ノ人地トナリ。隨唐宋元ヲ。歴テ。形ヲ轉ゼズ。曹魯川居士ガ女ニ依托シテ。梁皇懺ヲ修セシコトヲ請。因泗州寺ノ僧定空ヲ頼。コレヲ修セシムルニ。靈忽ニ化シ去ト云ガゴドキ。枚舉スルニ暇アラズ。過コロ撰州ニ財寶ヲ貪。畜人アリ。死シテ後小地アリ。來金箱ノ上ニ蟠。取捨ハ。還來。家コゾツテ懼怪。ツイニ

1529オ

亡人ノ靈魂ナルコトヲ知。コ、ニ或僧ノス、メニヨツテ。黃檗山ニキタリ。具ニコノ事ヲ語テ。梁皇懺ヲ修シ玉ハランコトヲ乞。法會事畢。カノ地自去。再來スト云。禪アレハソレリヤ。夫梁ノ武帝ハイマダ廓然無聖ノ對ニ愜玉ハズトイヘトモ。ステニ佛心天子ノ稱ヲ得玉ヘリ。梁ノ武帝嘗て著佛心天子ト云。亦武帝達磨大師ト問答ハ傳燈錄及碧巖等ノ諸書ニイフ。亦水懺法ト云ハ。前漢ノ文帝ノ太子ノ家令皐錯ト云ル人。吳ノ宰相袁盎ニ讒セラレ。ツイニ東ノ市ニシテ。腰斬セラル。ソノ事具ニ史記西漢書ニ見エタリ。ソノ後唐ノ僖宗ノ時ニ至テ。ソノ間七百餘年恨ナライマダ止ズ。袁盎ハ悟達國師トナリ。皐錯ハ人面瘡トナツテ。國師ノ世ニ用ラレ。名利ノ心發ニ乘ジ。膝ニ生ジテ。コレヲ惱痛シメテ。ツイニ其命ヲ殞トス。然トモ伽諾迦尊者三昧ノ法水ヲ加持シテ。コレヲ洗シム。因怨念頓

1529ウ

ニ解テ。瘡忽平愈シヌ。カノ瘡ノ口ヨリ。自前生ノ事ヲ言コト詳ナリ。具ニ水懺法緣起ニミエタリ。大和怪異記ニモ。女ゴダツ。人ノ怨念。主人ノ股ニ。人面瘡トナリシコトヲノス。悟達國師フカクコレヲ感ジ。乃ソノ處ニ菴ヲ卓玉フ。後ニ伽藍トナル。亦世ノ人多ハ宿世ノ冤在テ。互ニ報ジ。刃ヲ磨テ。害ヲ加。若ハ病トナリ。蛔トナル。亦蝨ニツクル。擲斷ニコノコトヲ説玉ヘリ。タトヒ禽獸魚鳥ニナルトイヘドモ。擲裂殘害ノ心止ガタク。共ニ輪回ノ業斷ザルヲ哀

1530オ

テ。懺悔ノ文ヲ撰ズ。三卷アリ。水懺法ト名ヅク。多ハ十惡懺悔ナリ。ユヘニココレヲ修シテ。靈怪奇病ヲノゾキ。沉痾痼疾ヲ愈ス。實ニ怨結ノ解。宿業ヲ轉ズルノ妙術ナリ。凡身ニ料ガタキノ病ヲ受。家ニ不思議崇アル人ハ。コレヲ修シテ往罪ヲ悔ツ。障ノ雲ヲハラフ事。コレカシコキ謀ナリ。宗密禪師懺悔ニ三ノ科ヲ立。普賢行願品ノ二ニハ懺悔ノ力ヲモツテ。業ヲ伏シテ生ゼザラシム。コレヲ伏業ノ二ニハ今ノ身ニ轉ジテ。輕受テ。惡道ニ入テ受ザランコトヲ願。懺悔ト名ヅク。三ニハ罪ハ暗室ノゴト

1530ウ

ク。懺悔ハ燈ノゴトシ。久シキ暗モツト忽明ナリ。但前ノ二ツハ事懺ニシテ。後ノ一ツハ理懺ナリ。觀音經ノ衆罪如霜露。慧日能銷除。澄觀ノ云。事懺ハ未ラ除理懺ハ根ヲ拔ト是也。毘婆沙論ニ懺悔ノ功德ヲ説云。コノ一念ノ善。形ト色トアラバ。大千世界ニモ容受コトアタハジト。懺悔ノ功力。及事懺理懺ノ分ハ。具ニ經論ニミエタリ。其外法華懺。彌陀懺。觀音懺。地藏懺。智旭禪師所撰。地。金光明經ノ懺除業障品ノゴトキ。亦所謂八十八佛經三千佛名經。五千佛名經。及萬佛名經。按スルニ萬佛名經ハ。一萬九千九十三佛アリ。禮懺ノ法ハ。其經ニ説ガノ類。如法ニ禮懺スル

1531オ

乗經文ヲ或ハ誦ジ。或ハ聽テ業ヲ轉ズルコト。經文分明ニシテ。現證コ  
レ多。具ニ記ニ暇アラズ。余ナヲ大日。釋迦。文殊。普賢。勢至。虛空藏  
等ノ功德靈驗。及圓頓戒徳ノ最勝ナルコトヲ記サントスルニ。旅窓紛コ  
ト多ガユヘニ。且先筆ヲ閣。聊他日ヲ待ト云。亦乞ラクハ。博聞利  
生ノ人アツテ。是ヲ續成コトヲ。是最願トコロ也

佛神感應錄卷第十五

大尾

「⑤31ウ

「⑤裏表紙見返

「⑤裏表紙

(あべ みか 歴史文化学科)

(おおくぼ みれい 横浜女子短期大学図書館)

(つかもと あゆみ 生活機構研究科生活文化研究専攻修了生)

(せきぐち しずお 本学名誉教授)